



企業継続の要点などを語る前川氏1日、大阪府門真市中町の松心会館

GMS新春講演・交流会

「常にせん定、風通しを」

前川氏 企業継続、木に例え解説

地域の中小、ベンチャー企業
の経営者、企業家を支援するNPO法人「チャレンジ企業支援隊」(GMS)グループ・サポートインングパートナーズ、山崎健一

郎理事長)は1日、新春講演・交流会(奈良新聞社など後援)を、大阪府門真市中町の松心会館で開いた。近畿の企業経営者ら約70人が参加した。

山崎理事長のあいさつに続き、同法人の馬場英彦副理事長が平成29年度の活動を報告。関西産業活性化協議会と連携した企業間のビジネスマッチング支援事業や、「キャンパスベンチャーグランプリ」

に関する産学連携支援活動で日刊工業新聞社賞を受賞したことなどを紹介した。

このあとジャーナリストの前川洋一郎氏が「100年200年永続長寿のための秘訣(ひけつ)」で講演。約900年続く鍛冶屋などを例に、経営危機をどう乗り越えたかを分析し、解説した。その上で企業を木にと

え「経営が根崩れし、事業の多様化で複雑に枝分かれしていないか。常にせん定、風通しを考え、規模や範囲を追わないことが持続につながる」と話した。

また交流会もあり、参加者が親交を深めた。